



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai1/

平成30年度



ビリがいるから

副校長 中野 裕美

本年度、洋光台第一中学校から赴任してきました、副校長の中野裕美です。小学校に関わるのは、自身の子どもが小学生だった時以来なので、なにぶんわからないことだらけです。いたらない点多々あるとは思いますが、精一杯そして元気一杯務めますのでよろしくお願いいたします。

さて、26日(土)吹く風がさわやかな絶好の運動会日和、洋一小運動会が開催されました。2年前見学した時に、児童の演技を見て、その生き生きと精一杯手足を伸ばして踊る姿に感動し、思わず涙があふれ出たことを懐かしく思い出しました。しかし、今年は、当日までの日々を共に過ごすことができ、更に深く感動しました。



私自身は、運動はやるのも見るのもとても苦手で、小学生の頃、運動会は一年で最も苦痛な一日でした。小学校の3年生の運動会当日、朝、腹痛で起き上がれなくなってしまいました。運動会に行きたくなくて仮病を使っていると思われたらどうしようと、必死で起きようとするのですが、あまりの痛さに脂汗が出ます。運動会用のお弁当を作っていた母は、それに気が付き「おなか痛いのなら、無理して学校行かない方がいいと思うよ。あなたは今日一日寝ていなさい。」と、「サボるつもり!」とも、「運動会行きたくなくておなか痛くなっちゃったんじゃないの?」とも言わず、兄の応援のため小学校へ行ってしまいました。午後早めに帰ってきた母は、私の様子を見て「ちょっと良くなったみたいね。先生に、良くなってきましたって顔を見せに行こうか。」と、小学校へ伴って行きました。運動会の片付けの最中の担任の先生に、ぺこっとあいさつをした私に、先生が「具合良くなった?また明日から元気に出ておいでね」と言ってくれたことと、家への帰り道で、母が、私が運動会を休んでしまったことにはふれず、「ビリを取る人がいるから一等賞を取る人がいる。ビリを取る人にも価値があるのよ」と言った言葉が今でも心に残っています。

その後、小学校高学年では応援団長をやったり、中学高校では吹奏楽部に入って行進曲を演奏したりと、『運動会に行かなくてはいけない理由』を自分で作り、大嫌いな運動会を休まずに何とか乗り切ってきました。でも、あの小3の運動会の日、母に行かないことを責められていたら、こんなに前向きに努力ができたかはわかりません。人の能力なんてそう劇的には向上しないので、私は今でも運動嫌いですが、運動会を楽しむ心根だけは持ち合わせています。母に感謝です。

洋一小の運動会は、5, 6年生が10種のプロジェクトに所属し、式典から飾り付けまで主催者となって活躍します。児童が『運動する』だけの運動会ではなく、意欲や特技を生かした取り組みがあります。その高学年の下支えがあつての、当日の児童の輝きであったことを知ることができたので、今年の感動はひとしおだったのだと思います。

6月 目標 清潔に気をつけて生活しよう